



高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



卓話 中国の休日

志方正昭 会員

1. 昨年まで休日法

- 1月の旧正月
- 5月の労働節
- 10月の国慶節
- 長期休暇による国民大移動による弊害



2. 中国の新しい休日法

- 5月の労働節のみを短縮して
- 1日のみとした

3. 10月初めに中国人の観光客が多い理由

4. その他の休日

- 清明節：1年24節気の一つ
- 端午節：旧暦の5月5日
- 中秋節：旧暦の8月15日



5. 一部の人がだけ休む日

- 国際婦女の日 3月8日 女性のみ半日休み
- 青年節 5月4日 16歳以上の青年は半日休



President

会長の時間

2008～09年度がスタートしてから、4ヶ月が過ぎております。早くも次年度の役員・理事を選出する時期が近づいて参りました。来月第2例会日の年次総会では、次年度の役員・理事を選任することになっております。高砂青松ロータリークラブ細則によりますと、「役員を選任する会合（年次総会）の1ヶ月前の例会において、会長（次々年度）、副会長、幹事、会計、S.A.A.及び4名の理事を指名することを求めなければならない。」ことになっております。既に決定済の役員もいらっしゃいますが、その他の役員・理事につきましては、慣例によりまして、菱田会長エレクトを指名委員として、役員・理事を指名して頂きたい旨、先週の理事会で決定させて頂いております。ご了解頂きますよう宜しくお願い致します。



ところで、11月10日に、東播第2グループの会長・幹事会がありまして、岡本幹事と共に出席致しました。来年2月7日（土曜日）に開催が予定されている「I.M.」のプログラムに付いての協議がその目的でした。例会の部の進行方法、懇親会での各クラブアトラクションについて協議致しました。講演会の講師については、10月8日の当クラブ例会でガバナー補佐から詳しく説明があったとおりです。

I.M.は、東播第2グループに属するロータリアンが一同に会する、年に一度の機会でございます。他クラブメンバーとの親睦を深めると共に、私達のクラブ運営に参考となる点を持ち帰って頂きたいものと願っております。全員登録とはなっていますが、大勢の皆さんの出席をお願い致します。

プログラム予定

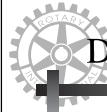
11月19日（水）	11月26日（水）	12月3日（水）	12月10日（水）
卓話 大橋 卓司 会員	卓話 田中 伸明 会員	上期事業報告	年次総会 上期事業報告



Secretary **幹事報告**

第17回 通算1381回

1. ソロプチミスト加古川のバザーチケットのご購入をお願いいたします。
2. 回覧その他
国際ロータリー第2680地区直前ガバナーより2007-2008年度地区会計決算報告が届いております。



Donation **ニコニコ報告**

鹿間 行雄

志方さん、本日の卓話楽しみにしています。

岡本 崇司

志方会員、卓話ご苦労様です。

よろしく申し上げます。

志方 正昭

本日卓話させていただきます。

小西 文孝

欠席が続きました。頑張ります。

原田 義之・砂川 仁志・青木 裕加

結婚記念日の花贈呈有難うございました。

田中 浩行・増田耕太郎・佐野 栄作

花を飾りましょう。

中右 和宏・西田 光衛

早退致します。



Neighbor-club information **近隣クラブINFORMATION**

クラブ名	変更内容	日時・場所
明石南ロータリークラブ	移動例会	11/28(火) 11/29(水) 於:I.M. ホテルキャッスルプラザ
姫路中央ロータリークラブ	献血例会のため	11/27(木)
姫路ロータリークラブ	忘年家族例会のため	12/9(火)
"	休会(祝日のため)	12/23(火)
"	休会(定款第6条第1節cによる)	12/30(火)

例会記録 2008. 11. 12 (水) 通算1457回

ソング 「我等の生業」

四つのテスト 会員選考委員長 小西文孝

出席報告 11月5日 会員数 52名 欠席者 9名 出席率 82.69% <修正による>
(この内出席免除者9名)
11月12日 会員数 52名 欠席者 15名 出席率 71.15%
(この内出席免除者9名)

播磨ゆかりの偉人伝 ⑰

山片 蟠桃 (やまがた・ばんとう)

「生き馬の目を抜く」ということばがある。生きている馬の目を抜くほど素早く物事をする—という意味だ。大阪で商才を発揮した蟠桃は、まさしく「生き馬の目を抜く」商法で成功を収めたといっている。

寛延元(1748)年、蟠桃は高砂で綿糸取引を営む長谷川小兵衛の二男として生まれた。13歳の時、大阪に出て堂島の両替商・升屋の別家へ養子に入り、丁稚から才を磨いていった。

24歳になった時、番頭に抜擢され主家再興に尽力する。損と無駄をとことん省く大阪商法を実践した。そのモットーは「天下の憂いに先立ちて憂い、天下の楽(たのしみ)に遅れて楽しむ」だった。

蟠桃が升屋を救った有名な話として「刺し米」がある。当時、大名貸しもしていた升屋は、相手先のひとつ仙台藩が財政難で借金を返せない状態から窮地に立たされていた。そこで蟠桃が考えついたのは、竹筒を俵に差し込み米の品質を調べる「刺し米」制を利用する妙案だ。

仙台藩から米の江戸への輸送を引き受けた蟠桃は、3度の「刺し米」で抜き取られた米をもらい受け現金化。多くの収益を得て、当座の危機を乗り越えた。合理主義者・蟠桃の面目躍如である。

非凡さは商売だけではない。町人学校の名門「懐徳堂」で儒学を学び、天文暦学も修める勉強好き。無神論者で、封建制のなか実学的近代合理思考を展開した。当代随一の町人学者で、晩年には失明しながらも口述筆記で全12巻の「夢之代(しろ)」を著した。

「地獄なし極楽なし我もなし ただあるものは人と万物」。蟠桃の辞世の句である。出身地の高砂市神爪の児童公園に銅像が建てられている。

(主な参考文献=寺林峻・著「播磨百人伝」神戸新聞総合出版センター)



会長 鹿間行雄 幹事 岡本崇司 クラブ会報委員長 菊地敬子

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)